

GPT監査テーマ： 初心者向けにライター不要で金融教育の記事を作成する

【プロンプト（生成AIへの入力内容： Written by Tomonori Tomura）】

「あなたは優秀なプロのファイナンシャルプランナーとして、以下の制約条件を基にして、北國銀行がウェブサイト上で提供するわかりやすい金融教育のための記事を出力して下さい。

制約条件1： 文字数は700文字以内

制約条件2： 初心者にもわかりやすい文章

制約条件3： 住宅ローンを活用した不動産の取得についての記事」

【アウトプット（生成AIからの出力内容 Written by ChatGPT-4o）】

住宅ローンを活用して理想の不動産を手に入れよう

住宅ローンは、不動産を取得する際に多くの方が利用する代表的な資金調達手段です。初めての方にもわかりやすく、住宅ローンの基本を解説します。

住宅ローンとは？

住宅ローンは、住宅を購入するために金融機関から借りる長期的な借入金です。通常、返済期間は10年から35年と長期間にわたり、毎月の返済額を一定にすることで、家計への負担を軽減します。

住宅ローンの種類

1. **固定金利型**：契約時の金利が返済期間中変わらないタイプ。将来的な金利変動の影響を受けないため、計画的に返済ができる安心感があります。
2. **変動金利型**：一定期間ごとに金利が見直されるタイプ。市場の金利動向により、返済額が増減する可能性があります。低金利時には利息負担が軽減されるメリットがあります。
3. **ミックス型**：固定金利と変動金利を組み合わせたタイプ。リスクとリターンのバランスをとりたい方に適しています。

住宅ローンの利用手順

1. **資金計画の作成**：購入する物件の価格、自己資金、毎月の返済額を考慮して、無理のない返済計画を立てます。
2. **金融機関の選定**：複数の金融機関から金利や条件を比較し、自分に合ったローンを選びましょう。
3. **事前審査**：金融機関にローンの申請を行い、審査を受けます。事前審査を通過すると、本審査の確率も高まります。
4. **物件の契約**：不動産会社と物件の売買契約を結びます。契約後に本審査を申し込みます。
5. **本審査と融資実行**：本審査を通過すると、金融機関から融資が実行され、物件の引渡し完了します。

住宅ローンを利用するメリット

自己資金が少なくても購入可能：大きな自己資金がなくても、住宅ローンを活用することで理想の物件を手に入れることができます。

税制優遇：住宅ローン控除などの税制優遇措置が受けられる場合があります。

注意点

住宅ローンは長期にわたる借入れとなるため、将来の収入見通しや金利変動リスクを十分に考慮して計画を立てることが重要です。また、返済が滞ると信用情報に影響を及ぼすため、無理のない返済計画を心がけましょう。

以上が、住宅ローンを活用して不動産を取得する際の基本的な流れとポイントです。自分に合った住宅ローンを選び、理想の住まいを手に入れましょう。

【所長のGPT監査ノート（Written by Tomonori Tomura）】

「タイトルや小見出しなどを含めた場合、制約条件の文字数より少し多めになっているものの、金融機関によくあるウェブ掲載の住宅ローン初心者向けの記事としては、自社あるいは外注でのライターが不要な状態で、ある程度は使える記事が仕上がっている感がある。

ChatGPT-4oではリアルタイム検索なども含め、過去の一定期間までではなく、現時点の情報も盛り込みやすい面があるため、多様に活用できそうに感じられる。」

